

東京都看護人材実態調査の概要

資料5-2

目的

- ① 地域別、施設種別、職種別等の充足状況、勤務環境の改善状況、看護教育に対するニーズを把握する。
- ② 2025年に向けた看護職員確保施策検討のための材料とする。

調査対象及び標本数

- I 医療機関や各施設の管理者
3,900程度を抽出
※病院、有床診療所、介護医療院、介護老人保健施設、
看護小規模多機能型居宅介護事業所は全数調査
- II 看護業務従事者
(看護職員) 1施設当たり1~10名、7,800程度を抽出
(看護補助者) 病院・診療所のみ 1~5名 2,450程度
- III 離職者 1,300程度を抽出
- IV 教育機関・養成施設
全課程(100程度)
- V 看護学生
1課程6名程度を抽出(600程度)

病院、有床診療所、無床診療所、訪問看護ステーション、助産所、介護老人保健施設、介護医療院、介護老人福祉施設、有料老人ホーム、通所介護等居宅サービス事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所

(参考) 平成26年度実施看護職員就業等実態調査 回収結果

区分	設計標本数	有効回収数	有効回収率
施設管理者	3,196	1,829	57.2%
従事者	7,650	4,377	57.2%
離職者	1,200	502	41.8%
看護学生	490	273	55.7%
教育機関・養成施設	99	73	73.7%

調査方法

アンケートを郵送し、郵送により回収

調査時点

令和元年12月1日

管理者編

- I 施設の基本情報
- II 就業状況
 - 就業状況
 - 今後の看護職員配置計画
- III 採用・確保の状況
- IV 定着
 - 職員の勤務状況
 - 定着対策
 - 人材育成
- V 届出制度・都の支援
- VI 看護補助者

従事者編

- 《看護職員》
 - あなた自身のこと
 - 職歴
 - 看護職員として働くこと
 - セカンドキャリアプラン
 - その他

- 《看護補助者》
 - あなた自身のこと
 - 職歴等

離職者編

- あなた自身のこと
- 仕事をやめたときのこと
- 看護職員としての再就業
- その他

教育機関・養成施設編

- I 施設の基本情報
- II 看護教員の状況
 - 就業状況
 - 2025年の看護教員配置計画 ○採用状況 ○退職
 - 専任看護教員の研修等
- III 養成課程別学生の状況
 - 入学状況 ○退学 ○国家試験等の対策 ○就職支援
 - 卒業後の進路 ○実習施設
- IV その他

看護学生編

- あなた自身のこと
- 修学等
- 卒業後の進路